



相模原市立千木良小学校 学校だより

千木良小だより



自ら学び 心豊かに 生きる子の育成

令和8年4月30日 No.2

環境が人を育てる

学校長 門倉 恭子

新学期が始まって約1ヶ月が経とうとしています。学年が1つ上がった子どもたち。一人一人が学年が上がったことを自覚した行動をしています。



6年生は、1年生との関わりが一番多い学年です。学校生活に慣れない1年生のために、6年生が手伝いをしている姿をよく見かけます。登校班では、1年生の歩く速度に合わせて、時折後ろを振り返って様子を見ながら歩く6年生の班長がいます。身体測定では、1年生のそばに寄り添って、検査の様子を見守る6年生がいました。



5年生は、高学年となり、6年生と学校の先頭に立って活動する場面が増えました。代表委員会では、司会グループの一員として、話し合いの内容を熱心に記録する5年生がいました。



4年生は、今年から委員会活動に加わりました。登校してすぐ、玄関の掃除をしている環境委員会の4年生がいました。放送委員の4年生の元気な放送も聞こえてきます。

と、外に出て花に水やりをする3年生がいます。

3年生は、理科や社会、書写の毛筆など、新しい学習が始まる学年です。それでも、新しいことに臆することなく、生き生きと活動している姿を見かけます。朝、登校して朝の準備を終える

2年生は、すっかりお兄さん、お姉さんになりました。先日は、1年生を連れて、学校探検をしました。1年生と2年生は4人。1年生とペアになって、各教室を回り、親切に説明をする2年生の姿がありました。



そして、1年生。何もかもが新しい環境。それでも、お兄さん、お姉さんに教えてもらいながら、自分たちでできることがどんどん増えてきて、ずいぶん学校に慣れてきました。

たった1ヶ月の間に、できることが増えている。自信もつけてきている。顔つきが変わってきている。子どもたちは本当にすごいと思います。学年が1つ上がったという環境の変化が、これほどまでに子どもたちの意識を変えるということを、改めて感じました。そして、子どもたちがさらに生き生きと、自分を好きになれる環境を整えていくことが、私たち教職員に与えられた大きな仕事であると思いました。

まだ、始まったばかり、スタートラインです。46人の子どもたちと、千木良小学校が誰にとってもよい環境となるよう、素敵な場所となるよう、努力していきたいと思います。応援よろしくお願いします！



5月1日より、個人情報保護のため、学校ホームページのブログにパスワードをつけることとしました。4月28日の保護者会の際に、おたよりを配付しましたので、そちらをご参照ください。子どもたちの今の情報を積極的に配信していきますので、ぜひご覧ください。